

計画事業番号	00007	事務事業名	乳幼児保健推進事業	担当部署	保健福祉部健康推進課	電話	1214
--------	-------	-------	-----------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	母子保健法第9条～第14条			
事務事業開始年度	昭和26年度		個別計画等	北広島市健康づくり計画 健康きたひろ21 北広島市子ども・子育て支援プラン			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち	
	(第 1 節) 健康づくり・地域医療の充実	
	(施策 2) 保健予防の推進	
2 対象	乳幼児とその保護者	
3 目的と内容	乳幼児の心身の成長発達を促し、保護者が安心して育児ができるよう乳幼児健診や赤ちゃん訪問などを行う。子どもの養育が困難な家庭への支援を検討する子ども虐待予防ケアマネジメント会議の開催。むし歯予防のためのフッ素塗布の実施。1歳6か月児健診の事後指導としてあそび教室の開催。 【前回の推進計画からの変更点】 平成29年度～乳幼児健診時間延長による医師報酬の増額、小児用聴診器とデジタル体重計(備品購入)・体重計や公用車の修繕料の計上、非常勤職員2種2人を1種へ変更等 平成30年度～公用車リース契約更新	
4 実施内容(手段)	2 8 年 度 ま で	(1)乳児健康診査(3・6・10か月児)・1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査 (2)赤ちゃん訪問・未熟児訪問 (3)子ども虐待予防ケアマネジメント会議 (4)フッ素塗布 (5)あそび教室 (6)出前健康講座
	2 9 年 度	(1)乳児健康診査(3・6・10か月児)・1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査 (2)赤ちゃん訪問・未熟児訪問 (3)子ども虐待予防ケアマネジメント会議 (4)フッ素塗布 (5)あそび教室 (6)出前健康講座

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
(1)乳児・1歳6か月児・3歳児健康診査 (2)赤ちゃん訪問/未熟児訪問 (3)子ども虐待予防ケアマネジメント会議の開催 (4)フッ素塗布の実施 (5)あそび教室の開催 (6)出前健康講座	(1)乳児36回 受診数977人/1歳6か月児12回 受診数339人/3歳児12回 受診数 325人 (2) 329人/うち未熟児13人 (3)子育て検討会12回 検討事例44件 (4)12回 延292人 (5)24回 参加数26人 延200人 (6)20回 参加数538人	乳児・1歳6か月児・3歳児健康診査 赤ちゃん訪問 子ども虐待予防ケアマネジメント会議の開催 フッ素塗布の実施 あそび教室の開催 出前健康講座	乳児・1歳6か月児・3歳児健康診査 赤ちゃん訪問 子ども虐待予防ケアマネジメント会議の開催 フッ素塗布の実施 あそび教室の開催 出前健康講座	乳児・1歳6か月児・3歳児健康診査 赤ちゃん訪問 子ども虐待予防ケアマネジメント会議の開催 フッ素塗布の実施 あそび教室の開催 出前健康講座	乳児・1歳6か月児・3歳児健康診査 赤ちゃん訪問 子ども虐待予防ケアマネジメント会議の開催 フッ素塗布の実施 あそび教室の開催 出前健康講座	乳児・1歳6か月児・3歳児健康診査 赤ちゃん訪問 子ども虐待予防ケアマネジメント会議の開催 フッ素塗布の実施 あそび教室の開催 出前健康講座	乳児・1歳6か月児・3歳児健康診査 赤ちゃん訪問 子ども虐待予防ケアマネジメント会議の開催 フッ素塗布の実施 あそび教室の開催 出前健康講座

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	母子保健法により自治体に健診実施が義務付けされており、乳幼児の健康保持に必要な事業である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			14,765		19,328		20,628		20,552	
事業額	直接事業費	国支出金	625		625		625		625	
		道支出金	619		625		625		625	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	146		200		100		100	
		一般財源	13,375		17,878		19,278		19,202	
	① 合計	14,765		19,328		20,628		20,552		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	16,800	0	16,800	0	16,800	0	16,800	0	
総事業費①+④			31,565		36,128		37,428		37,352	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①子ども虐待予防ケアマネジメント会議開催数	目標値	回	12	12	12	12
		実績値		12			
	②フッ素塗布の実施回数	目標値	回	12	12	12	12
		実績値		12			
③あそび教室開催数	目標値	回	24	24	24	24	
	実績値		24				
④乳児健診実施回数	目標値	回	36	24	24	24	
	実績値		36				
成果指標	① 1歳6カ月児健診受診率	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		97.4			
	② 3歳児健診受診率	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		91.3			
	③ 赤ちゃん訪問実施率	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		99.4			

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかというのと妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	乳幼児の健やかな成長のための保健指導と保護者の育児負担の軽減を行っており、子育て支援に必要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	乳幼児健診や赤ちゃん訪問は90%以上の高率で推移しており、またきめ細やかな支援も実施していることから成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	関係機関との連携により、今後も乳幼児期の重要な時期に適切な支援ができるよう事業の実施が必要である。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	受診人数に応じたスタッフ数で従事するなど、必要最小限の人員で効率的に実施している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	---	------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--